

令和3年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品



海老名市立上星小学校 1年
北村 友理佳



厚木市立南毛利小学校 2年
寺谷 樹希



寒川町立一之宮小学校 3年
伊藤 星渚



厚木市立戸室小学校 4年
野瀬 暖乃



伊勢原市立石田小学校 5年
吉武 利紗



伊勢原市立高部屋小学校 5年
浅川 日葵



厚木市立荻野小学校 6年
西川 侑希



伊勢原市立伊勢原小学校 6年
高橋 歩花



綾瀬市立北の台小学校 6年
小沼 煌学



川崎市立富士見中学校 1年
三住 亜子



伊勢原市立山王中学校 1年
関西 凰次朗



川崎市立川中島中学校 2年
平田 真羽



国領白百合学園中学校 2年
安藤 心香



平塚市立中原中学校 3年
吉本 朱里



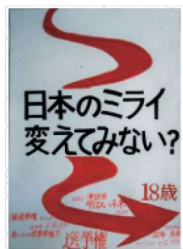
秦野市立西中学校 3年
高橋 千晴



神奈川県立希望ヶ丘高等学校 1年
川野 結瑛



神奈川県立希望ヶ丘高等学校 1年
瀬野尾 奏太



川崎市立川崎総合科学高等学校 1年
中野 まとめ



自修館中等教育学校 4年
古津 清正



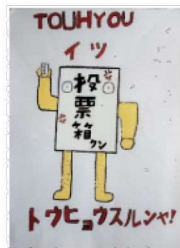
神奈川県立神奈川工業高等学校 2年
山地 翔南



トキワ松学園高等学校 2年
西本 有梨沙



川崎市立川崎総合科学高等学校 3年
日色 悠太



川崎市立中央支援学校高等部分教室 3年
木村 海斗



神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年
後藤 あかり

あらし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、どの作品も選挙の大切さを表現するため意匠を凝らしていました。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、199校から、1,827点の応募がありました。

審査結果

令和3年9月28日に行われた県の審査会において、小学生9名、中学生6名、高校生9名の計24名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生21名、中学生19名、高校生6名の計46名の方の作品が佳作となりました。

審査員

青木 美穂（神奈川県教育局指導部高校教育課高校教育企画室主査兼指導主事）

與那城 智栄子（知事室副主幹・広報デザインアドバイザー）

鈴木 航（かながわ選挙カレッジ実習生）

中菌 知也（かながわ選挙カレッジ実習生）

圓山 賢太郎（かながわ選挙カレッジ実習生）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長・書記長代理

“選挙のめいすいくん”



審査講評

審査員代表 青木 美穂

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、現在も社会や人々の生活が様々に変化している中で、今年度も「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が開催され、多くの作品の応募がありました。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から1,827点の応募があり、県の本審査で24点を優秀作品として選出しました。この24点の作品は県の代表として全国審査へ出品されました。

どの作品も、「明るい選挙」というテーマの基に主体的に選挙について調査し、そこから得られた課題や人々の思いを自分事として捉え、ポスターの制作を通してそれらと向き合い、考え、工夫して表現されており、非常にメッセージ性のあるものとなっています。その中から、印象に残った作品を紹介します。

- ・北村 友理佳 さん 投票用紙を持った人物の横顔の表情や一面に咲いている花から、思い浮かべている人々への優しい思いを持って投票しようとしていることが伝わります。また、ハート型の吹き出しの中にいる人物たちもそれぞれ笑顔で投票用紙を持っており、一人ひとりが一票に大切な願いを込めて投票しようとしている様子が伝わってきます。
- ・小沼 煌学 さん 東京2020オリンピックでも話題となったスケートボードを彷彿とさせるような、一票を差し出す人物の姿からスピード感や空間を感じる作品となっています。カラフルな投票用紙が向こうは小さく、手前は大きく、少しカーブのある川のように描かれていることで賑やかさや楽しさも表現されており、「明るい選挙」のイメージが効果的に描かれています。
- ・安藤 心香 さん 様々な姿の人のシルエットが、みんなで力を合わせて重い扉を開ける様子が描かれています。扉の手前は濃い紫で、奥は淡い水色で描かれていることや、扉の周りから光が漏れている様子から扉の向こうが明るい世界であることが分かり、みんなで投票して明るい未来を切り拓こうという表現の意図が伝わります。
- ・山地 翔南 さん 光の無い暗い世界から、スポットライトが当たっている投票箱のある明るい世界へ行こうとしている姿を、駆け寄るような姿で躍動的に描いています。画面を明暗でシンプルにわけることで、2つの世界観や画面の奥行きを巧みに表現し、「私、行くから」という意思を見る人に強く印象付けることに成功しています。
- ・木村 海斗 さん 投票箱クンというキャラクターが、「イツ トウヒョウスルンヤ!」と投票率の低さに嘆き怒っている様子を画面の中央に配置した、シンプルだけれども表現したいことを力強く発信している作品となっています。強い言葉のメッセージが使われていますが、キャラクターのかわいらしさでバランスが取れ、「TOUHYOU」という文字もアクセントになっています。

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が今後も継続し、選挙を身近に感じ、社会の様々な課題に向けて多様な年代の人が共に考える機会となる、素晴らしい作品が集まることを期待しています。